

---

# 静寂

俺様参上！

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

静寂

### 【Nコード】

N0814L

### 【作者名】

俺様参上！

### 【あらすじ】

騒音、雑音、いろんな音を雨のカーテンは遮り、二人だけの世界を生み出す。二人だけの世界、それが崩れたら、何が残るだろうか。

ある雨の日、雨宿りをしているとき、彼女は濡れた髪をいじりながら地面につき、跳ねている雨水を眺めながら俺にこう言った。

「私、雨って結構好きなの。なんでだと思っ？」

「……わからん」

「周りと、自分が水のカーテンで遮られたような感じがするのよ。雑音の中にいるはずなのに、ふと静寂のなかに自分一人のような感覚になるの」

いつのまにか地面に向けられていた視線は俺のほうに向いていた。

「今、君と私。二人だけの空間が出来ている。そう思うだけで、私は幸せなの」

彼女は、俺に視線を向けながら、その顔を真っ赤に染めつつ微笑んでいた。

いつだったか、その頃は、まだ俺も彼女もまだ幸せで、幸福で。

「君のことが……好きなの」

ある日の放課後、彼女は俺にそう告げていた。

「ずっと、好きだった。そして、今から、ずっと好きでいたい」「  
教室は夕日で真っ赤に染まり、だけど彼女の顔が赤く染まってい  
ることは分かった。

「これから二人で……歩いていきたいの……」

気付けば、俺は彼女を抱きしめていた。優しく……だけど決して  
離さないように。

俺だって、二人で歩いていきたいって、ずっと思ってたから。

俺たちの事はみんなが祝福してくれた。みんな笑顔で、幸せそう  
で……。でも、一番幸せそうだったのは俺たちだった。

彼女とは色々な話を話した。「子供は何人がいい」とか、「大学  
を卒業したら結婚しよう」とか。色々なこと。

そして、今日も色々な話を話そうと思っていた。「子供は男と女  
どっちがいいかな」とか、朝まで話そうと思っていた。話そうと……  
思ってたんだ……。

騒音、雑音。色々な音が雨のカーテンによって遮られていく。サ  
イレンの音や、周りの声も。

俺達の世界には、俺達しか存在できなかった。

「……………なあ、遥香」

俺は雨と、失われた血液によって急速に冷たくなっていく彼女の体をそつと、抱きしめた。

もともと白かった彼女の肌は、今では見違えるほどに青くなり、指先で触れる頬は、とてもやわらかくて、冷たかった。

「二人で……………歩いて行くんだろ……………？ ……俺……………一人じゃ、道、分からないよ……………」

雨は容赦なく全身を強く叩き、俺の体温も奪っていく。服は水分を限界まで吸い上げ、重くのしかかってくる。

「二人だけしか……………いないんだろ……………？ お前が居なくなったら……………本当に、何も聞こえなくなるだろ……………？」

雨のカーテンは周りを遮断し、静かに、俺だけの空間を作り上げていく。

半身を失った二人の世界の住人は、ただただ、一人で塩辛い雨を降らせ続ける。

「まだまだ……………話してないことがあるだろ……………？ ……なあ……………遥香……………」

自分だけの世界は、酷く静かで、酷く寂しくて。

俺は彼女を抱きしめたまま、静かに地に伏せる。

体温の低下は血液の循環を滞らせ、次第に四肢は麻痺していく。

視界はだんだんと揺らいでいき、もう二度と笑うことのない彼女

の顔だけは鮮明に映った。

半身を失ったもう一人の住人は、やがて追うように自身も消え去り、

後には静寂だけが、残った。

(後書き)

始めて書いた短編です。感想等、お待ちしております！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0814/>

---

静寂

2010年10月9日20時24分発行